



# ユーザーマニュアル

---

## ■ 注記

本マニュアルは、参考用資料であり、製品の仕様に関しては予告なく変更される場合がございます。

ユーザーマニュアルの情報は、事前の通知なしに変更される場合があります。

本マニュアルにおけるエラー及び不足な項目について、製造元あるいは販売者はその責任を負わないものとします。本マニュアルの仕様あるいは実行に起因する結果的破損についても、その責任を負うものではありません。

ユーザーマニュアルの情報は、著作権法により保護されています。本マニュアルの内容の著作権保持者による書面による事前の許可の無い複写あるいは再生は禁じられています。

本書内の製品名称は各所有者/企業の商標また/あるいは登録商標です。

本マニュアルにて説明されているソフトウェアはライセンス許諾契約に基づき配布されています。ソフトウェアは契約の規約に則り複製されるものとします。

本製品には著作権で保護されている技術が含まれており、米国特許及びその他の知的財産権により保護されています。

リバースエンジニアリングあるいは分解は禁止されています。

---

# 目次

---

注記 .....	2
はじめに .....	5
■ 1.1 規制に関する情報 .....	5
■ 1.2 安全に関する注意 .....	7
■ 1.3 本マニュアルにおける注記 .....	8
■ 1.4 リリース歴 .....	9
基本説明 .....	10
■ 2.1 製品仕様 .....	10
■ 2.2 コンピュータの準備 .....	13
■ 2.3 製品概観 .....	14
■ 2.3.1 上面図 .....	14
■ 2.3.2 下面図 .....	16
■ 2.3.3 右側図 .....	17
■ 2.3.4 左側図 .....	18
使用開始にあたり .....	19
■ 3.1 ACアダプタ .....	19
■ 3.2 キーボードについて .....	20
■ 3.2.1 キーボード用途向けWindows 7/XP .....	21
■ 3.2.2 キーボード用途向けWindows 8 .....	23
■ 3.3 タッチパッドについて .....	25
■ 3.3.1 Windows 7/XP上でのタッチパッド利用 .....	26
■ 3.3.2 Windows 8上でのタッチパッド利用 .....	29

---

---

BIOSセッアップ .....	31
■ 4.1 BIOSセッアップについて .....	31
■ 4.1.1 BIOSセッアップはいつ使用するのか？ .....	31
■ 4.1.2 BIOSセッアップを実行するには？ .....	31
■ 4.2 BIOS Setup Menu ( BIOSセッアップメニュー ) .....	32
■ 4.2.1 Info Menu ( 情報メニュー ) .....	33
■ 4.2.2 Main Menu ( メインメニュー ) .....	35
■ 4.2.3 Advanced Menu ( 詳細メニュー ) .....	37
■ 4.2.4 Security Menu ( セキュリティメニュー ) .....	39
■ 4.2.5 Boot Menu ( 起動メニュー ) .....	41
■ 4.2.6 Save & Exit Menu (保存してメニューを終了する)..	43

---

# はじめに

## ■ 1.1 規制に関する情報

### • FCC-B 無線周波数鑑賞に関する情報

本機器はFCC規定パート15に準拠しています。操作は以下の二つの条件の影響を受けます: (1) 本機器は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本機器は予期しない動作の原因となりうる干渉を含め、あらゆる干渉を受ける可能性があります。準拠における責任団体による明示された認可の無い改変あるいは修正は、機器の操作権利の無効化につながります。この装置は、FCC 規定のパート15 に準ずるクラス B デジタル装置の制限を満たすことがテストされ、確認されています。これらの制限は、家庭での設置における有害な障害に対し、適正な保護が提供されるように設計されたものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成および使用し、放射することがあります。そのため、使用説明書に従ってインストールおよび使用しないと、ラジオ受信と干渉する可能性があります。ただし、特定の設置では、障害が発生しないという保証はありません。この装置により、ラジオまたはテレビの受信との有害な干渉が発生する場合、次の基準に従って、干渉を補正することをお勧めします。干渉は、装置の電源を投入および切断することによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変える。
- 装置を受信機から離す。
- 装置を別のコンセントにつないで、装置と受信機を別の分岐回路につなぐ。
- 販売店または経験のあるラジオ / テレビ技術者に問い合わせる。



注意: 製造元による明示された認可の無い改変あるいは修正は、装置の操作権利の無効化につながります。

---

- CE コンプライアンス

本機器は、Technical Information Equipment (ITE)により、リビングルームやオフィスでの使用をするクラスBに定められております。CEマークは、EUガイドラインに沿って認証されています。

- EMVガイドライン89/336/EEC電磁両立性耐久度。

- LVDガイドライン 73/23/EEC 低電圧電子機器。

## ■ 1.2 安全に関する注意

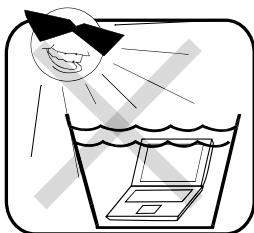
以下の安全に関する注意を守ることにより、コンピュータの製品寿命が延びます。すべての注意及び説明に従ってください。



本機器に重い物を載せたり、機器を不安定な場所に置かないでください。



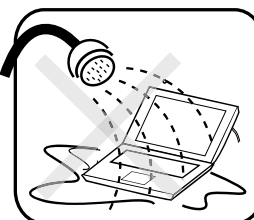
本機器を磁場の近くに置いたり使用したりしないでください。磁気干渉が機器のパフォーマンスに影響する場合があります。



本機器を直射日光、高湿度、および水気に曝さないでください。



本機器の通気口を塞いだり、空気の流れを妨げないようにしてください。



液体、雨、あるいは湿気の側に置いたり使用したりしないでください。

モデムは雷雨の間は使用しないでください。

- 本機器は周辺温度 35°C (95°F) までの環境で捜査することができます。5°C (41°F) 未満あるいは 35°C (95°F) を超える環境で使用しないでください。

---

## ■ 1.3 本マニュアルにおける注記



注意! 安全な操作のため必ず守るべき情報

---



注記: 特別な状況における情報

---



## ■ 1.4 リリース歴

バージョン	改訂注記	日付
1.0	初版のリリース	09.2012

# 基本説明

## ■ 2.1 製品仕様

当ユーザーマニュアルは本ノートパソコンの操作の仕方について説明及び図解を記載しています。ノートパソコンの使用前に本マニュアルを注意深くお読みください。

### ・物理的条件

寸法	338.6 x 235 x 20.6~27.8mm
重量	1.86 kgs / 6セル含む ; 1.8 kgs / 4セル含む (実際の仕様により重量は異なります。)

### ・APU

対応プロセッサ	AMD Ontario プロセッサ AMD Zacate プロセッサ
---------	---------------------------------------

### ・コアチップ

Core チップセット	AMD Hudson-M1 エクスプレスチップセット
-------------	----------------------------

### ・メモリ

DDRIII	DDR3 1066/1333 MHz, RAM ソケット x2
--------	---------------------------------

### ・電源

ACアダプタ	40ワット、2ピン / 3ピン (オプション)
バッテリー	リチウムイオンバッテリー

### ・ストレージ

HDD	2.5インチ SATA HDD 対応
カードリーダー	2イン1カードリーダー カード

---

## ・オプティカル機器

---

ODD	9.5mm SATA 光学ドライブ対応
-----	---------------------

---

## ・I/Oポート

---

DC入力	x 1
USB2.0	x 3
CRT	x 1
RJ45	x 1
電話ジャック	x 2 (マイク/ヘッドホン用)
カードリーダー	x 1 (SD/MMC)
HDMI	x 1

---

## ・オーディオ

---

オーディオコーデック	Azalia 標準サポート,D3モード対応
スピーカー/マイク	内蔵スピーカー1機および内蔵マイクサポート

---

## ・入力

---

キーボード	標準 NB KB
ポインティングデバイス	2ボタン付PS2 Touch Pad(タッチパッド)

---

## ・ディスプレイ

---

VGA	Integrated Graphic
LCD	14.0" HD , 16:9 LEDタイプ、解像度1366 x 768

---

## ・通信ポート

---

LAN	10/100/1000 Mb/秒
ワイヤレスLAN (オプション)	IEEE802.11b/g/n 対応
ブルートゥース (オプション)	ブルートゥース3.0 & 4.0、USB対応

## ・ウェブカム(オプション)

---

ウェブカム	内蔵ウェブカムモジュール
-------	--------------

---

注意: モデルは、以下のACアダプタモデルのみを使用するように設計されています。

製造元: Lite-On

形式: PA-1400-11 / PA-1400-12

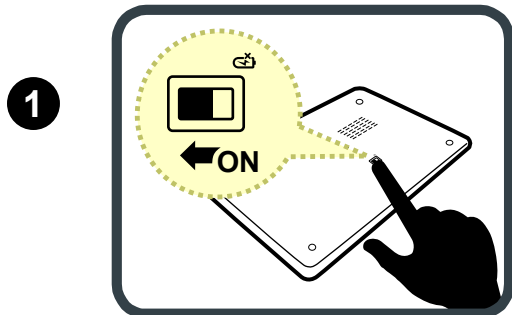
製造元: APD

形式: DA-40B19 / DA-40A19

製造元: Delta

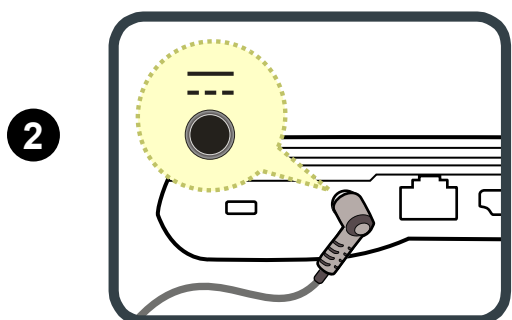
形式: ADP-40PH AB

## ■ 2.2 コンピュータの準備

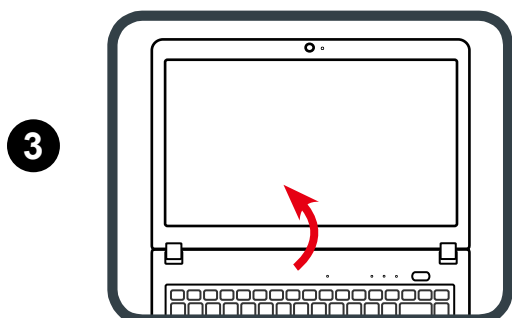


ノートパソコンの底面が上に来るように、ひっくり返して下さい。

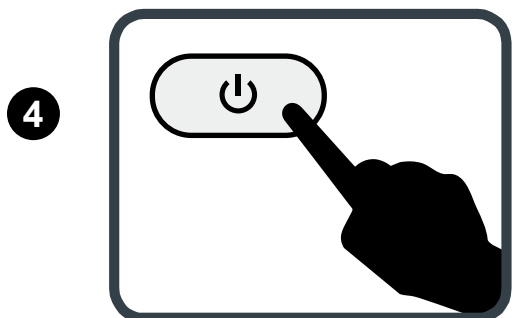
スイッチをONに切り替えて、システムが新しく起動できるようにします。



ACアダプタケーブルをノートパソコンの左側にあるDC電源コネクタに挿入します。




ノートパソコンを開けます。



ノートパソコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

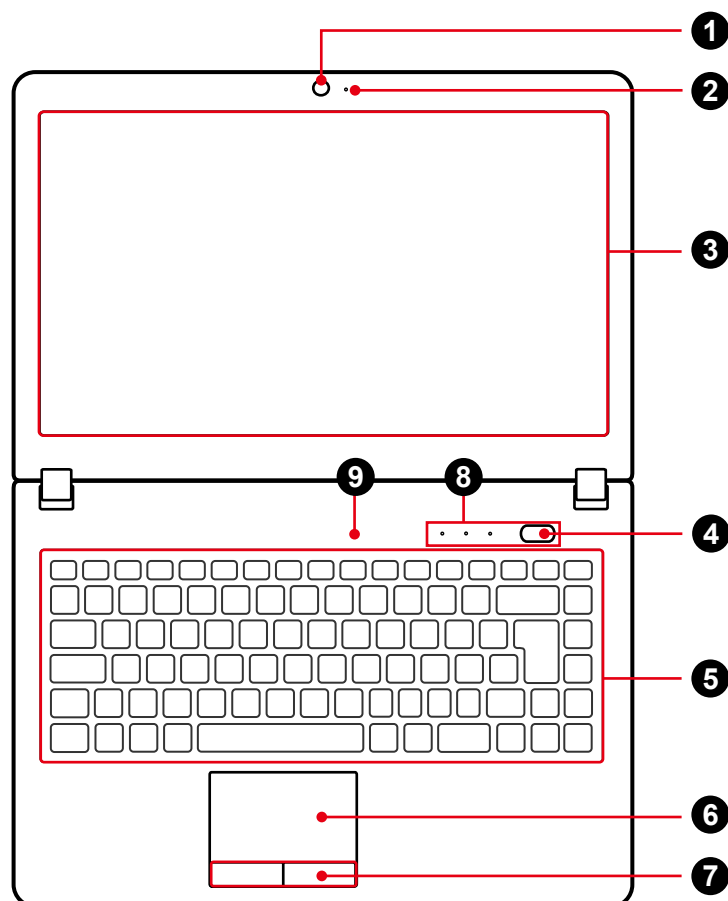
## ■ 2.3 製品概観

このセクションでは、ノートパソコンの基本的な点について説明します。

 注記: 製品の色、I/Oポート、インジケータの場所及びその仕様は、配送時によって違う場合があります。

### ■ 2.3.1 上面図

下記の上図及び説明により、ノートパソコンのメイン操作をご紹介します。




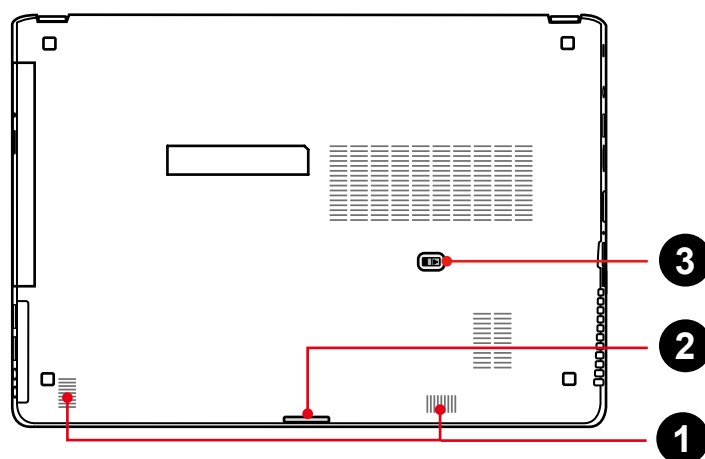
注意: コンピュータを使用しない時は、LCD画面を埃から守るため閉じておくようにしてください。



上部コンポーネント		機能説明
① ウェブカム (オプション)		内蔵ウェブカムにより写真撮影やビデオ録画が可能です。
② CCD LED ライト		CCD インジケータが CCD の状態を表記します。
③ LCD画面		ノートパソコンのディスプレイです。
④ 電源ボタン		ノートパソコンの電源を入れます。
⑤ キーボード		キー操作のしやすいキーボードです。
⑥ タッチパッド		タッチ・センシティブのポインティングデバイスはマウスと同様に機能します。
⑦ 左右タッチパッドボタン		左右ボタンは標準マウスの左および右ボタンと同様に機能します。
⑧ 電源 LED		電源インジケータは電源ステータスを表示します。
⑧ ワイヤレス LAN LED		ワイヤレスインジケータはワイヤレスステータスを表示します。
⑧ バッテリーLED		バッテリーインジケータはバッテリーステータスを表示します。
⑧ HDD LED		HDDインジケータはHDDステータスを表示します。
⑨ マイク		マイク内蔵。

## ■ 2.3.2 下面図

コンピュータのこの面のコンポーネントを識別するには、以下の図を参照してください。

 注意：製品の熱給排気口は、実際に配送された製品により違います。



上部コンポーネント	機能説明
① ステレオスピーカー	ステレオサウンドを再生します。
② 2-イン-1カードリーダー 	SD/MMC メモリーカード。
③ バッテリー電源 スイッチ 	<p>バッテリー電源スイッチを使用して、組み込まれたバッテリーの操作する事ができます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組み込まれた電源は、バッテリー電源スイッチによって操作され電力を供給します。</li> <li>・ システムが完全に故障を思われる最は、バッテリー電源スイッチを利用してノートパソコンをシャットダウンして下さい。(ノートパソコン分解の必要はありません)</li> </ul>

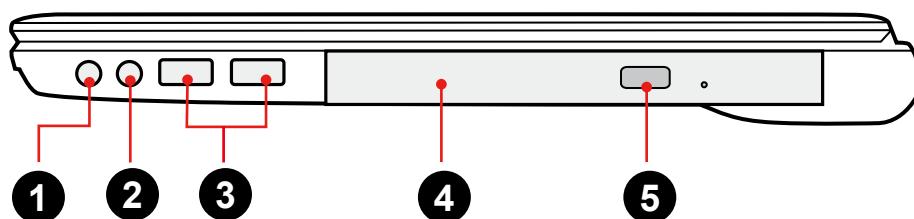




注意: コンピューターを膝の上など、身体の上に置かないようにご注意ください。熱による怪我をする恐れがあります。



### ■ 2.3.3 右側図

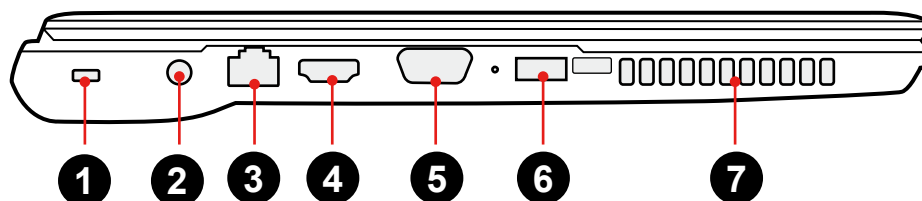
コンピュータのこの面のコンポーネントを識別するには、以下の図を参照してください。






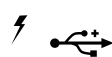


上部コンポーネント		機能説明
① ヘッドホン端子		アンプスピーカーあるいはヘッドホンがこの端子に接続します。
② マイク端子		マイクをこの端子に接続します。
③ USBポート		USBデバイス ( USB Zipドライブ、キーボード、マウスなど ) をこの端子に接続します。
④ 光学ドライブ		光学ディスクを挿入するスロットです。
⑤ 取り出しボタン		CD/DVDディスクを取り出します。

## ■ 2.3.4 左側図

コンピュータのこの面のコンポーネントを識別するには、以下の図を参照してください。



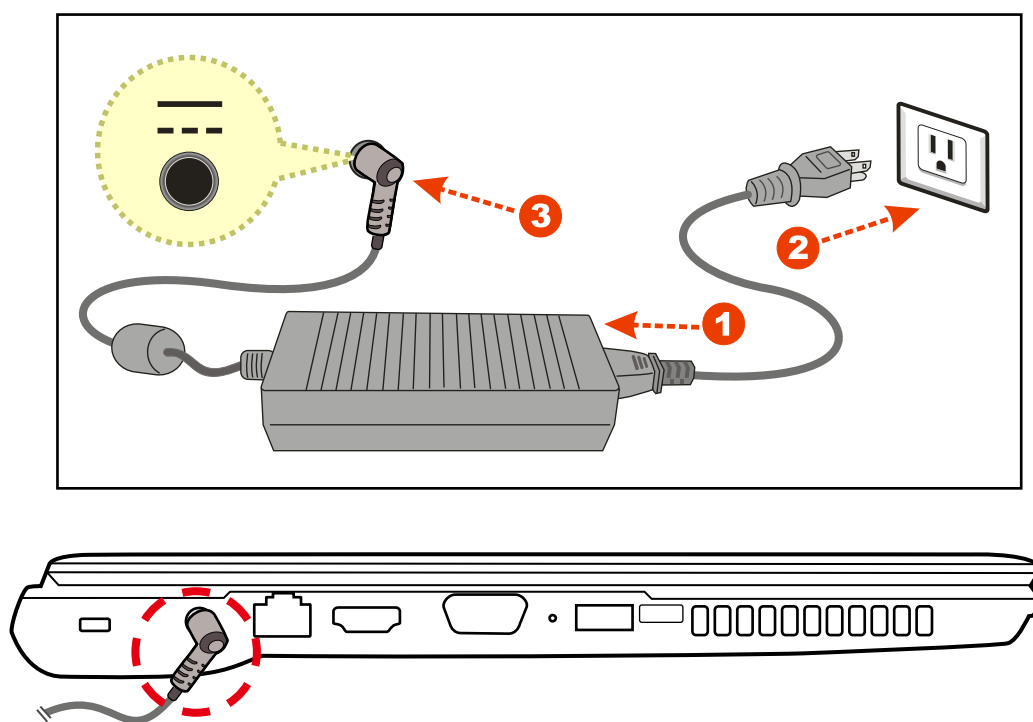
上部コンポーネント		機能説明
1	ケンジントン ロック	 ケンジントンロックを使用してセキュリティをかけます。
2	電源コネクタ	 モデムポート電源コネクタISP に接続します。
3	ネットワーク端子	 ネットワークを接続します。
4	HDMI コネクタ	 外部モニタを接続します。
5	外部モニタコネクタ	 外部モニタを接続します。
6	USB ポート	 USBデバイス ( USB Zipドライブ、キーボード、マウスなど ) をこの端子に接続します。 -電源オフモードで外部USB機器にインテリジェント充電 ( 電源がオフの状態で電源ボタンを 5 秒間押します。するとUSB LEDインジケータが点灯し、充電機能が起動します。電源ボタンを 1 秒間押すと、充電機能が停止します。 ) -USB電源を500mAから1.5Aに拡大
7	通気孔	排熱する通気孔です。

## 使用開始にあたり

### ■ 3.1 ACアダプタ

本ノートパソコンを初めてご使用になる際は、ACアダプタを接続しAC電源を使用することを強く推奨いたします。ACアダプタが接続されている際は、バッテリーは即時充電状態となります。

付属のACアダプタはご購入のノートパソコンに適応することが認められています。その他のアダプタ形式の使用はノートパソコンあるいは接続されたその他の機器に破損を与える恐れがありますのでご注意ください。



**注意:** 劣化した延長コードの使用はおやめください。ノートパソコンに破損を与える恐れがあります。ノートパソコンには適応するACアダプタが付属しています。コンピュータおよびその他の電子機器に異なるアダプタを使用することはおやめください。

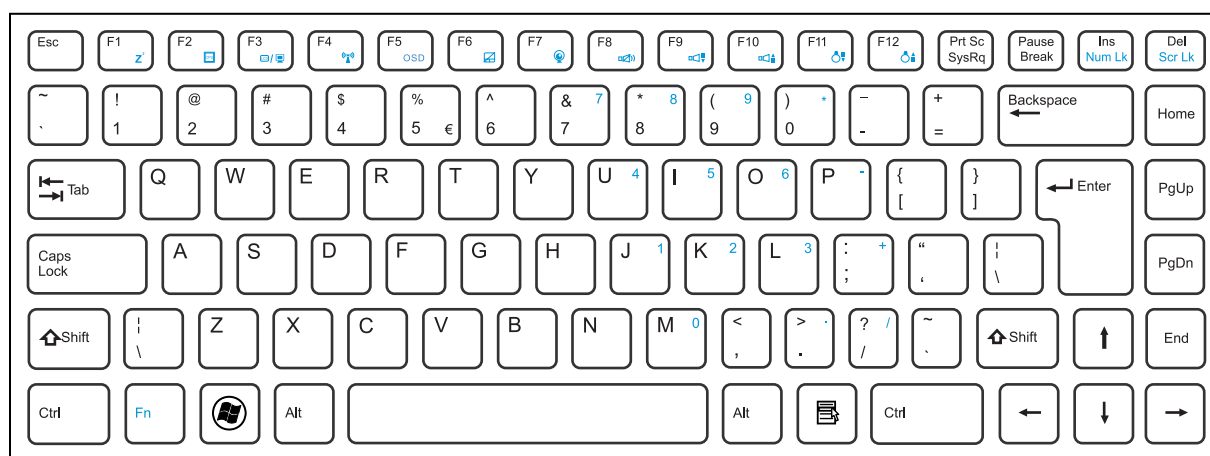


**注記:** 電源アダプタは使用中に熱を発する場合があります。アダプタを覆わないようご注意ください。また、身体からは離してご使用ください。

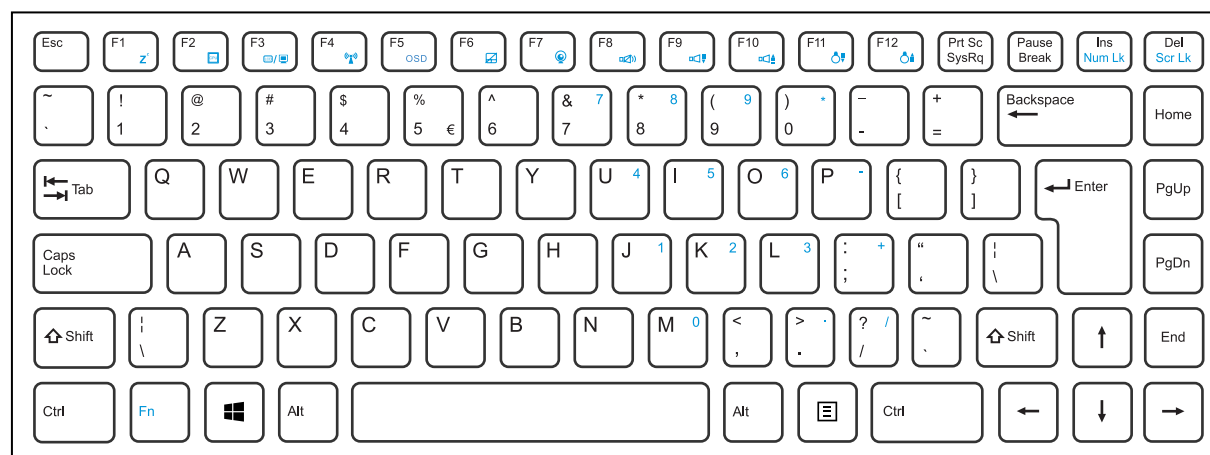
## ■ 3.2 キーボードについて


以下はキーボードにおけるホットキー（色付き）についての説明です。色文字のコマンドは、ファンクションキーを押しながら色文字のコマンドのついたキーを押すことで実行されます。

- Windows 7/XP用キーボード：



- Windows 8 用キーボード：




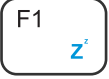








 注記: キーボードは地域により異なります。

## ■ 3.2.1 キーボード用途向けWindows 7/XP











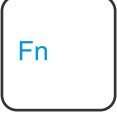



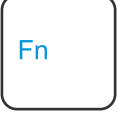

これらの機能を有効化するには、<Fn> を押しながら以下に説明しているキーを同時に押してください。

### ■ ファンクションキー

キーパッド	機能説明
 	BT オン/オフ: BT オン/オフモードに入るには、FnとEscのキーを合わせて押します。
 + 	サスペンド: スリープモードに入るには、FnとF1のキーを合わせて押します。
 + 	省電力モード: 省電力モード (CPU動作スピードを最低値に抑えます)、FnとF2のキーを合わせて押します。
 + 	LCD/CRTモード: LCD/CRT/HDMIモードに入るには、FnとF3のキーを合わせて押します。 ディスプレイモードの変更: LCDのみ、LCD+CRT、CRTのみ、HDMI+CRT、HDMIのみ、LCD + HDMI
 + 	WLAN オン/オフ: WLANオン/オフモードに入るには、FnとF4のキーを合わせて押します。

ワイヤレスLANを無効にすると、Windowsのデバイスマネージャー上に表記がなくなるか、ワイヤレスLANモジュールの仕様設計に依存します。


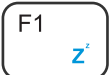








## ■ ファンクションキー

キーパッド	機能説明
 + 	OSD: (on screen display): Fn+F5 を同時に押す事で、OSD設定バーが表示され各機能を確認できます。
 + 	タッチパッド: タッチパッドモードに入るには、FnとF6のキーを合わせて押します。
 + 	ウェブカム オン/オフ: ウェブカム オン/オフモードに入るには、FnとF7のキーを合わせて押します。
 + 	ミュート: ミュートモードに入るには、FnとF8のキーを合わせて押します。
 + 	音量ダウン: 音量ダウンモードに入るには、FnとF9のキーを合わせて押します。
 + 	音量アップ: アン量アップモードに入るには、FnとF10のキーを合わせて押します。
 + 	輝度減少: LCDディスプレイの輝度を下げるには、FnとF11のキーを合わせて押します。
 + 	輝度増加: LCDディスプレイの輝度を上げるには、FnとF12のキーを合わせて押します。















## ■ 3.2.2 キーボード用途向けWindows 8

これらの機能を有効化するには、<Fn> を押しながら以下に説明しているキーを同時に押してください。

### ■ ファンクションキー

キーパッド	機能説明
 + 	<b>サスペンド:</b> スリープモードに入るには、FnとF1のキーを合わせて押します。
 + 	<b>省電力モード:</b> 省電力モード (CPU動作スピードを最低値に抑えます)、FnとF2のキーを合わせて押します。
 + 	<b>LCD/CRTモード:</b> LCD/CRT/HDMIモードに入るには、FnとF3のキーを合わせて押します。ディスプレイモードの変更: LCDのみ、LCD+CRT、CRTのみ。
 + 	<b>RAID オン/オフ:</b> (Fn+F4)を同時押しすると、すべてのラジオをオン/オフできます。
<b>注釈:</b> FN+F4 を同時に押すとBluetoothとWIFI機能をオン/オフできます。OSD上では、WIFIのみ表示となっています。	
 + 	<b>OSD: (on screen display):</b> Fn+F5 を同時に押す事で、OSD設定バーが表示され各機能を確認できます。

## ■ ファンクションキー

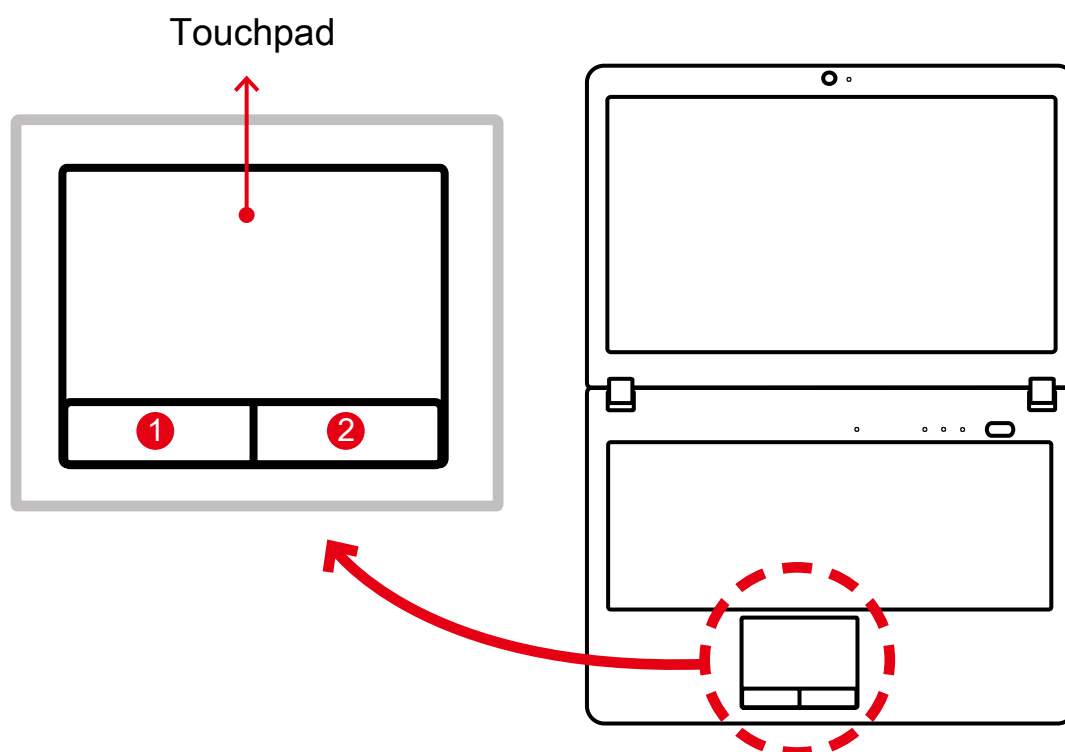
キーパッド	機能説明
 + 	タッチパッド: タッチパッドモードに入るには、FnとF6のキーを合わせて押します。
 + 	ウェブカム オン/オフ: ウェブカム オン/オフモードに入るには、FnとF7のキーを合わせて押します。
 + 	ミュート: ミュートモードに入るには、FnとF8のキーを合わせて押します。
 + 	音量ダウン: 音量ダウンモードに入るには、FnとF9のキーを合わせて押します。
 + 	音量アップ: 音量アップモードに入るには、FnとF10のキーを合わせて押します。
 + 	輝度減少: LCDディスプレイの輝度を下げるには、FnとF11のキーを合わせて押します。
 + 	輝度増加: LCDディスプレイの輝度を上げるには、FnとF12のキーを合わせて押します。



### ■ 3.3 タッチパッドについて

タッチパッドは、キーボードの手前にある長方形の電子パネルです。静電気に敏感なタッチパッドのパネルを使用し、直線的な動きでカーソルを動かすことができます。タッチパッドの手前にあるボタンはマウスの左右のボタンと同様に使用することができます。

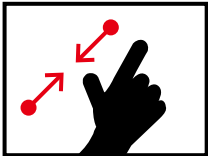
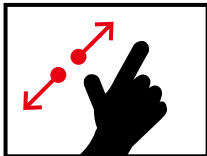


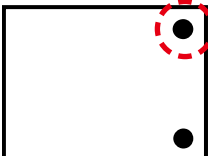
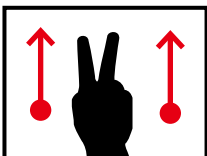
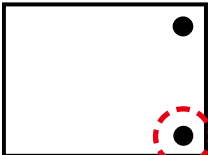
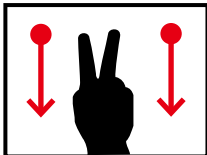
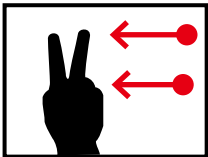
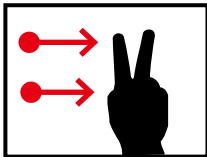
タッチパッドの端にある左 ❶ および右 ❷ ボタンを押して選択をしたり機能を実行したりします。左右ボタンは標準マウスの左および右ボタンと同様に機能します。タッチパッドを軽く叩いても同様に機能します。



注意: 乾いた清潔な指でタッチパッドを使用してください。また、タッチパッドも乾いて清潔な状態に保ってください。タッチパッドは指の動きに敏感です。そのため、タッチが軽いほど、反応も良くなります。強く叩いてもタッチパッドの反応は向上しません。

### ■ 3.3.1 Windows 7/XP上でのタッチパッド利用

#### ■ 指による入力動作

指のジェスチャー	機能説明	
ズームイン/アウト		
	ズームイン	ズームアウト
回転		
	左回転	右回転
スクロールアップ		or 
	指定箇所をタッチ	二本の指を上方向へ
スクロールダウン		or 
	指定箇所をタッチ	二本の指を下方向へ
左/右スクロール		
	二本の指を左方向へ	二本の指を右方向へ

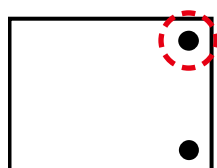
指のジェスチャー	機能説明
スライドショーの再生	 <p>三本の指を上方向へ</p>
スライドショーの終了	 <p>三本の指を下方向へ</p>
ページアップ	 <p>三本の指を左方向へ</p>
ページダウン	 <p>三本の指を右方向へ</p>

タッチパッドジェスチャー用のドライバーをインストールしていない場合、動作は下記の通りとなります。

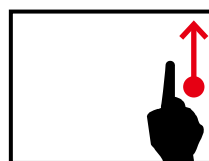
## 指のジェスチャー

## 機能説明

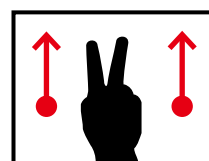
スクロールアップ



or



or

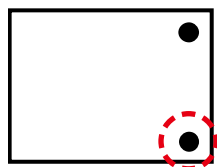


指定箇所をタッチ

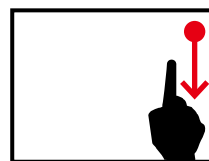
指 1 本を上方向へ

二本の指を上方向へ

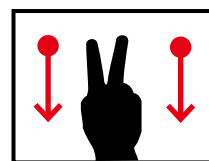
スクロールダウン



or



or



指定箇所をタッチ

指1本を下方向へ

二本の指を下方向へ

## ■ 3.3.2 Windows 8上でのタッチパッド利用

### ■ Win8タッチパッドジェスチャー

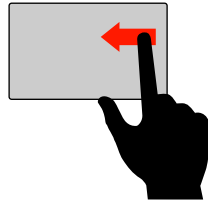
現在のタッチパッドジェスチャー：Windows 8の現在のタッチパッドは、下記に記載のジェスチャーに対応しています。

指のジェスチャー	機能概要
指一本でスライド	 マウスカーソル操作
指一本/複数でのタップ、ダブルタップ	 カーソル指定部分でプライマリーボタンをクリック、ダブルクリック
指二本でスライド	 縦もしくは横スクロール (マウスホイール)
二本指でピンチ	 ズーム (  + マウスホイール)



## 指のジェスチャー

## 機能概要

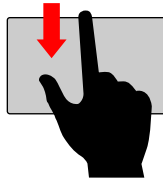
右端でスワイプ





システムコマンドのチャームを表示

(  +  )

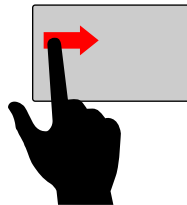

上端からスワイプ



アプリのコマンドを表示

(  +  )

左端からスワイプ

最後に使用したアプリに  
スイッチする(  +  +  )

# BIOSセッティング

## ■ 4.1 BIOSセッティングについて

### ■ 4.1.1 BIOSセッティングはいつ使用するのか？

BIOSセッティングは以下の場合に実行する必要があります：

- ・ システム起動中にエラーメッセージが画面に現れSETUPを実行するよう求める場合。
- ・ カスタム機能のデフォルト設定を変更したい場合。
- ・ デフォルトBIOS設定をリロードしたい場合。

### ■ 4.1.2 BIOSセッティングを実行するには？


BIOS Setup Utility ( BIOSセッティングユーティリティ ) を実行するには、ノートパソコンをオンにしPOST手順の間に [Del] キーを押します。

あなたが反応する前にメッセージが消えてしまったがセッティングに入りたい場合は、システムをオフにし、再度オンにして再起動するか、[Ctrl]+[Alt]+[Del] キーを同時に押して再起動してください。

この章での設定オプションについての画面スナップは参考画像です。実際の設定画面およびオプションはBIOSの更新に伴い異なる場合がありますのでご了承ください。

セッティング機能へ入る場合は、POST画面上で、[DEL] キーもしくは [F2] を押します。これによりユーザーが好みに応じて設定を変更する事ができます。NVRAM上に保存された設定情報は、再起動後に有効となります。セッティングはメニューインターフェイスを使用しており、ユーザーがシステムを構成することが可能です。主要な特性の一覧は下記の通りです。

ブートメニューは [F7] キーを押します。

 注記: ドライバー、BIOSやユーティリティソフトなどは、製品によって相違があります。

## ■ 4.2 BIOS Setup Menu ( BIOSセットアップメニュー )

BIOS Setup Utility ( BIOSセットアップユーティリティ ) を開くと、Main Menu ( メインメニュー ) が画面に現れます。他のメニューを開くにはタブを選択します。

### Info Menu ( 情報メニュー )

BIOSバージョン、CPU特性および製造元についてのシステム情報を表示します。

### Main Menu ( メインメニュー )

メモリサイズ、メインHDDあるいはODD、システムの時間と日付設定についてのシステム概要を表示します。

### Advanced Menu ( 詳細メニュー )

XD機能の有効化あるいは、XD機能を無効化してIntelプラットフォーム + Windowsとのみ動作するよう選択します。

### Security Menu ( セキュリティメニュー )

管理者及び使用者のパスワードを設定もしくは消去する。

### Boot Menu ( ブートメニュー )

システムブートの間の設定を構成します。

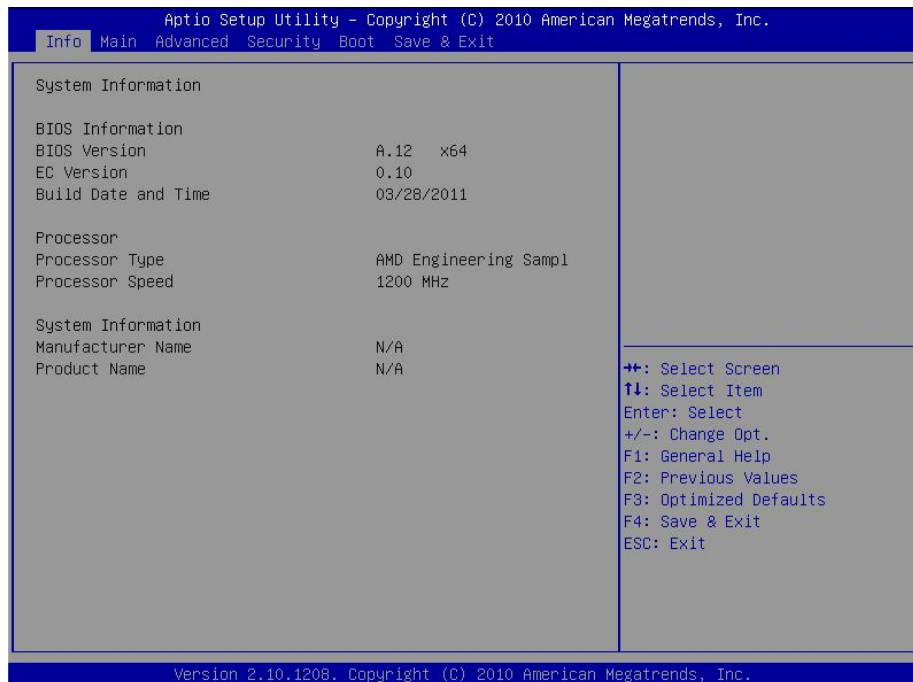
### Save & Exit Menu ( 保存してメニューを終了する )

BIOS Setup Menu ( BIOSセットアップメニュー ) を終了する前に変更を保存するかあるいは取り消します。



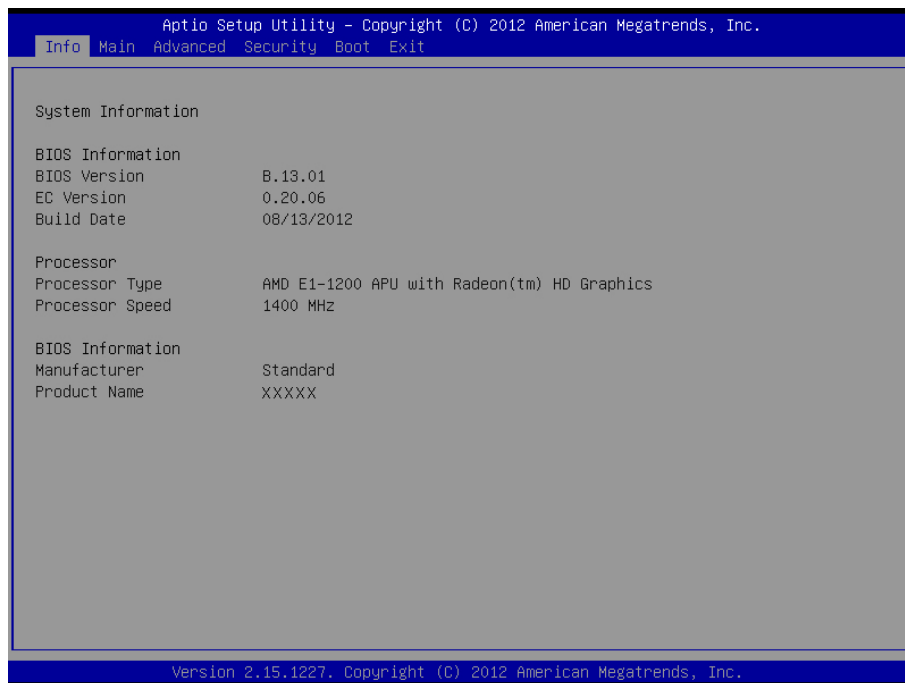
## ■ 4.2.1 Info Menu ( 情報メニュー )

- Windows 7/XP 用:



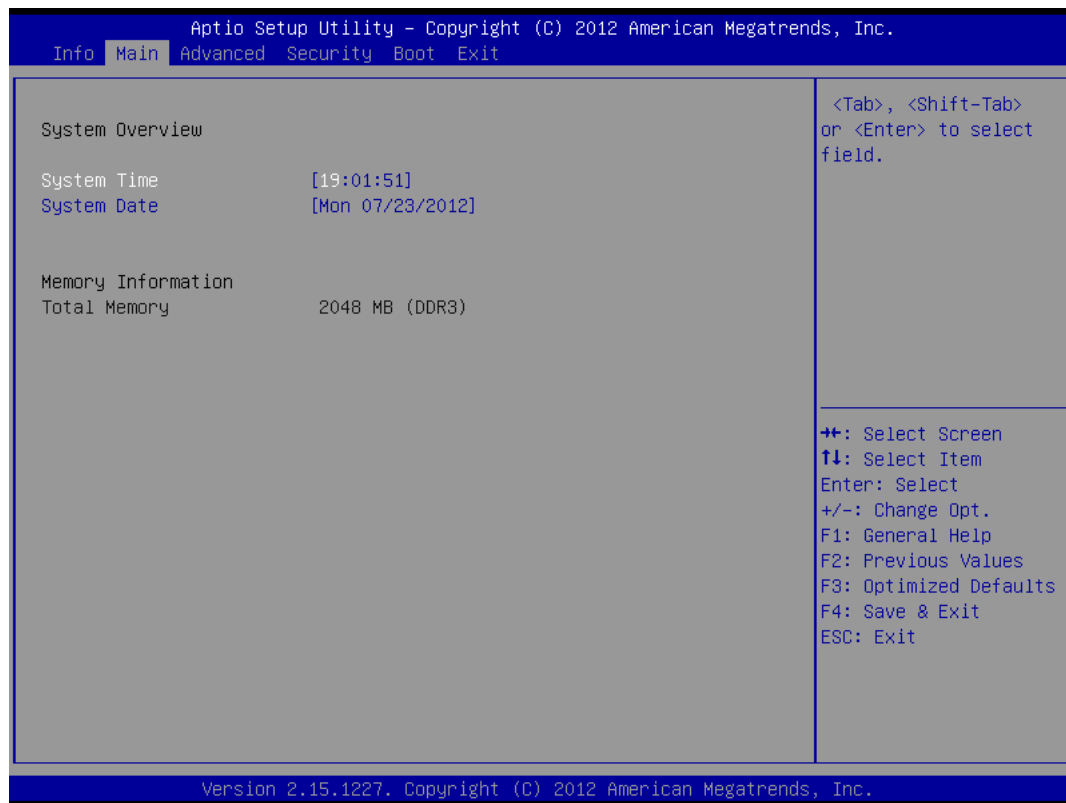
- System Information ( システム情報 )  
ここはプロセッサのファームウェア情報を提供します。
- BIOS Information ( BIOS情報 )  
BIOS Version : BIOS バージョン  
EC Version : EC バージョン  
Build Date : BIOS構築日時
- Processor ( プロセッサ )  
プロセッサのタイプ  
プロセッサスピード
- Manufacturer ( 製造元 ) : 製造元名称
- Product Name: 製品名称

- Windows 8 用:



- System Information ( システム情報 )  
ここはプロセッサのファームウェア情報を提供します。
- BIOS Information ( BIOS情報 )  
BIOS Version : BIOS バージョン  
EC Version : EC バージョン  
Build Date : BIOS構築日時
- Processor ( プロセッサ )  
プロセッサのタイプ  
プロセッサスピード
- Manufacturer ( 製造元 ) : 製造元名称
- Product Name: 製品名称

## ■ 4.2.2 Main Menu ( メインメニュー )



- System Overview

ここでは、システムの日時情報を提供します。

- System Date ( システム年月日 )

この項目ではシステムの年月日を設定できます。

日付の形式は [day:month:date:year ( 曜日:月 : 日 : 年 ) ]です。

[ENTER]、[TAB]、[SHIFT-TAB]を使用してフィールドを選択します。

- System Time ( システム時間 )

この項目ではシステムの時間を設定できます。

PCをシャットダウンしたり、あるいはスリープモードとなってもシステムクロックは進み続けます。

時間の形式は[hour:minute:second ( 時間 : 分 : 秒 ) ]です。

[+] あるいは[-] を使用してシステム時間を設定します。

---

曜日	日曜日から土曜日までの曜日で、BIOSによって決定されます。(読み取りのみ)
Month ( 月 )	01 ( 1月 ) から12 ( 12月 ) までの月です。
Date ( 日 )	01から31までの日付です。
Year ( 年 )	年はユーザーが調整することができます。

---

- ・ Memory Information

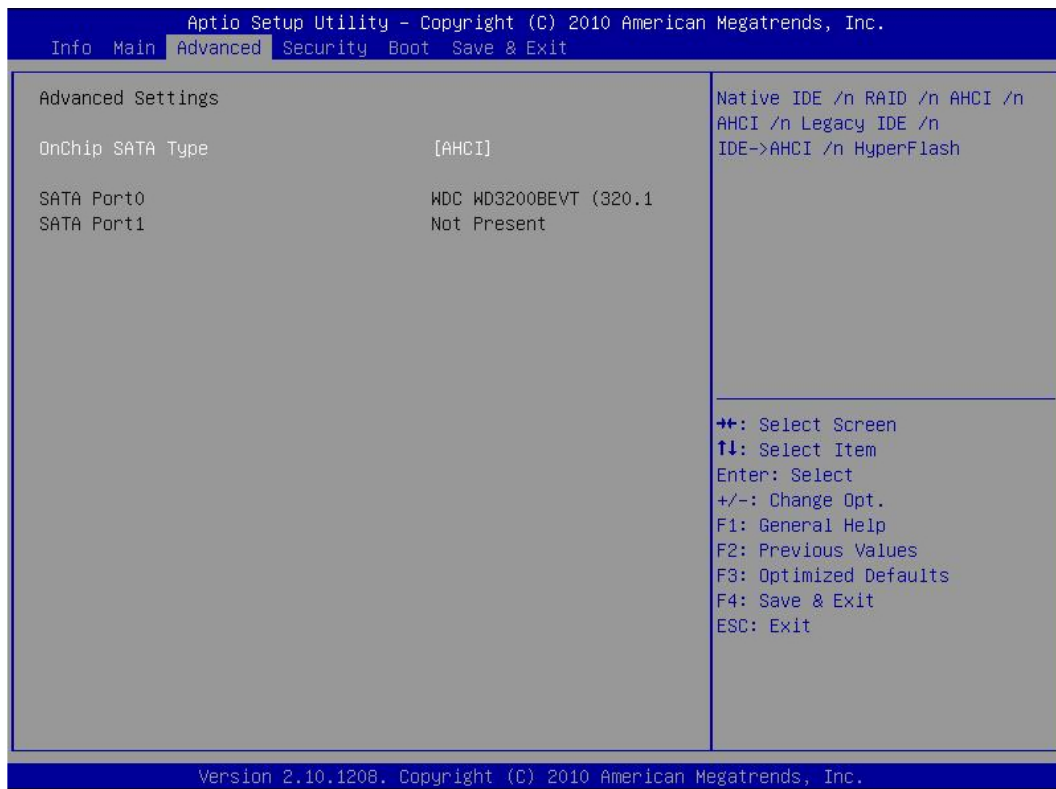
システムメモリー情報を表示します。

- ・ Total Memory

総メモリー量を表示します。

## ■ 4.2.3 Advanced Menu(詳細メニュー)

- Windows 7/XP 用:



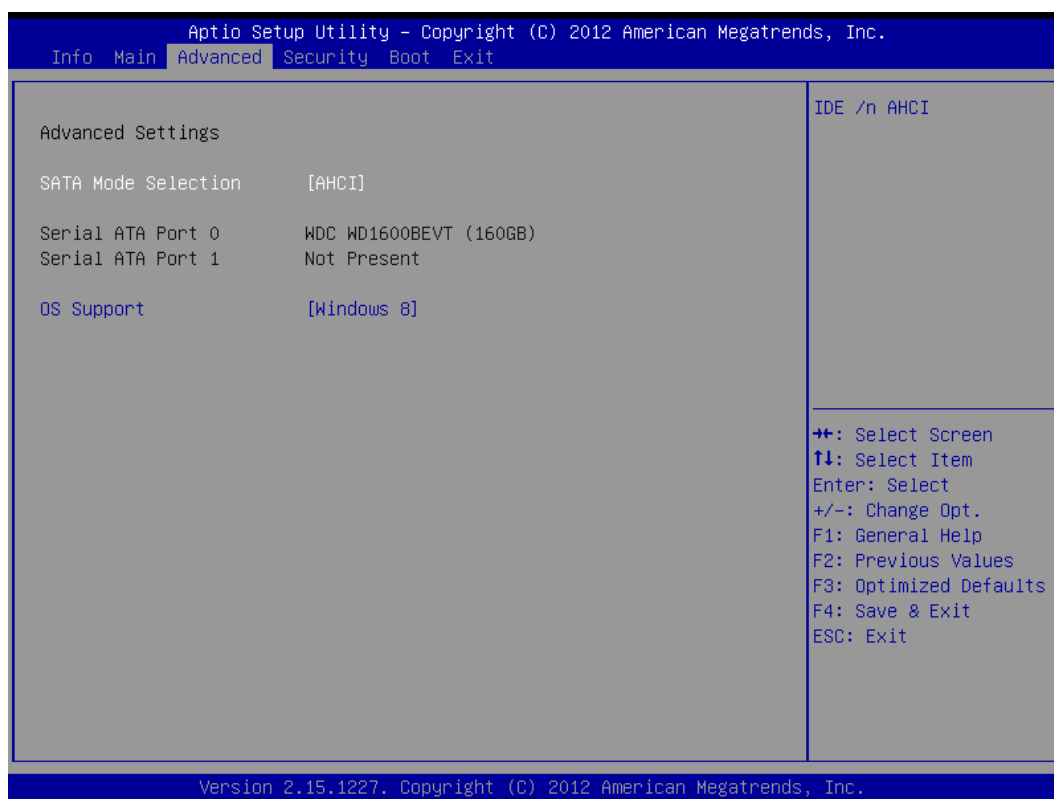
- OnChip SATA Type

SATA AHCIモード及びIDEモードの選択。

- Serial ATA Port 0/1

セットアップを開いている間、BIOSは自動的にAHCI 機器を検出します。この画面では、AHCI 機器の自動検出のステータスを表示します。

- Windows 8 用:



- SATA Mode Selection

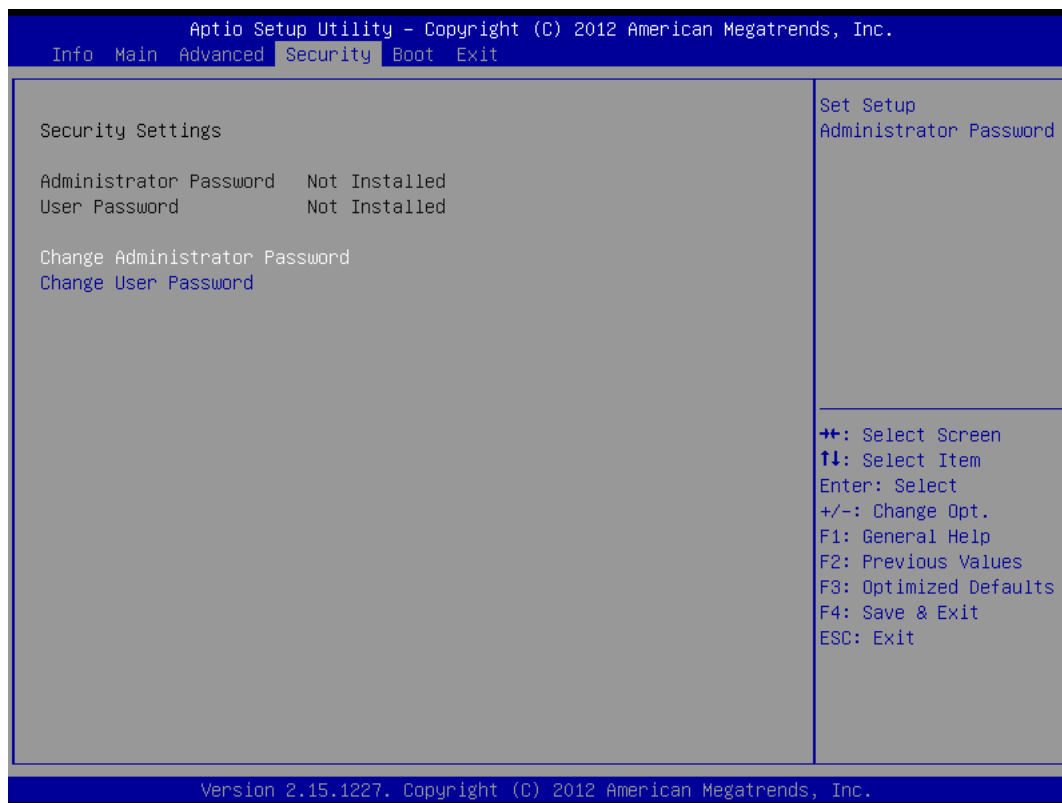
SATA AHCIモード及びIDEモードの選択。

- Serial ATA Port 0/1

セットアップを開いている間、BIOSは自動的にAHCI 機器を検出します。この画面では、AHCI 機器の自動検出のステータスを表示します。

- サポートOS : Windows 8

## ■ 4.2.4 Security Menu ( セキュリティメニュー )



- ・ Change Administrator Password (管理者パスワードの変更)

この項目を選択すると、画面には下図のようなメッセージボックスが現れます:

Enter New Password  
(新規パスワードの入力)

20 桁までのパスワードを入力して[Enter]を押します。

これで、CMOS メモリから以前設定されたパスワードは新しいパスワードに変更されます。[ESC] を押して新規パスワード設定を放棄することもできます。

Change User Password ( ユーザーのパスワードの変更 ) を選択してパスワード設定を行うか、あるいは放棄します。上記のChange Administrator Password (管理者パスワードの変更) 項目と同様です。

Administrator Password ( 管理者のパスワード ) 欄によりユーザーは BIOS SETUP UTILITY ( BIOSセットアップユーティリティー ) の設定を開き、変更することができます。User Password ( ユーザーのパスワード ) 欄では、ユーザーはBIOSセットアップユーティリティーを開くことはできますが、変更を加える権限はありませんのでご注意ください。

Password Check ( パスワード確認 ) 項目は、実行されるBIOSパスワード保護のタイプを特定するために使用します。

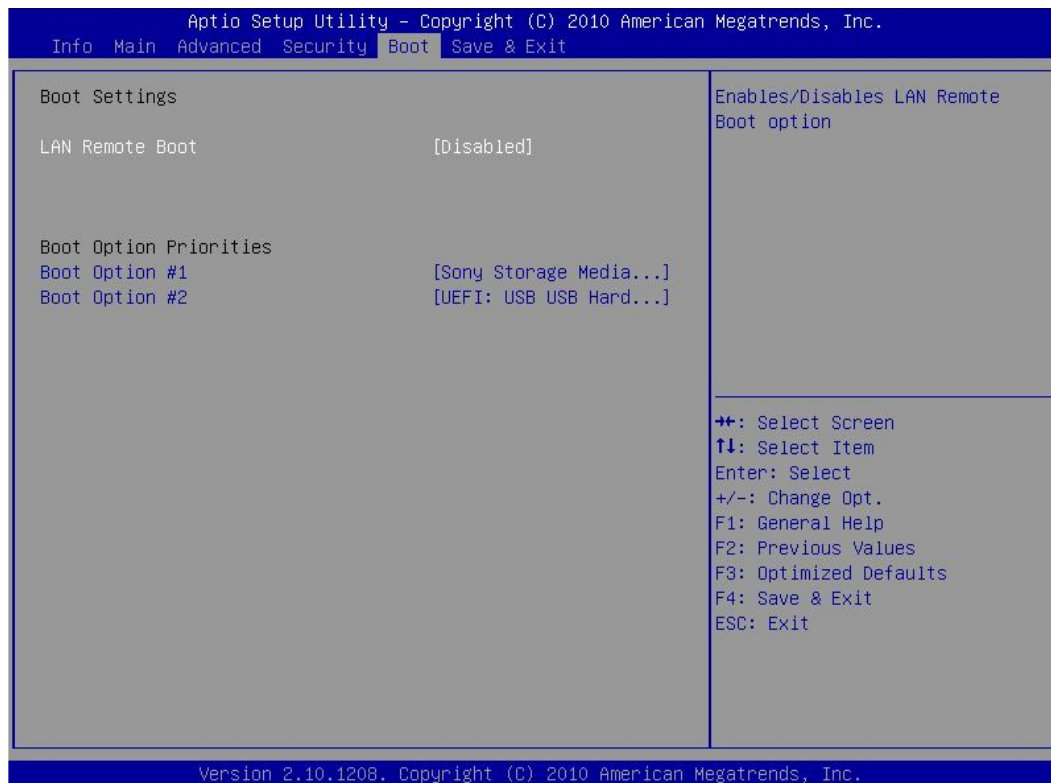
設定された Administrator Password ( 管理者のパスワード ) / User Password ( ユーザーのパスワード ) を消去するには、パスワードの入力を求められた際に、Change Administrator Password/ Change User Password ( 管理者パスワードの変更/ユーザーのパスワードの変更 ) 欄の下にある[Enter] を押します。

ボックスが表示され、パスワードの無効化を確認します。パスワードが無効になると、システムはブートし、ユーザーはパスワードを入力せずにセットアップを開くことができます。



## ■ 4.2.5 Boot Menu (起動メニュー)

- Windows 7/XP 用:



- Boot Settings

システム起動の設定を構成します。

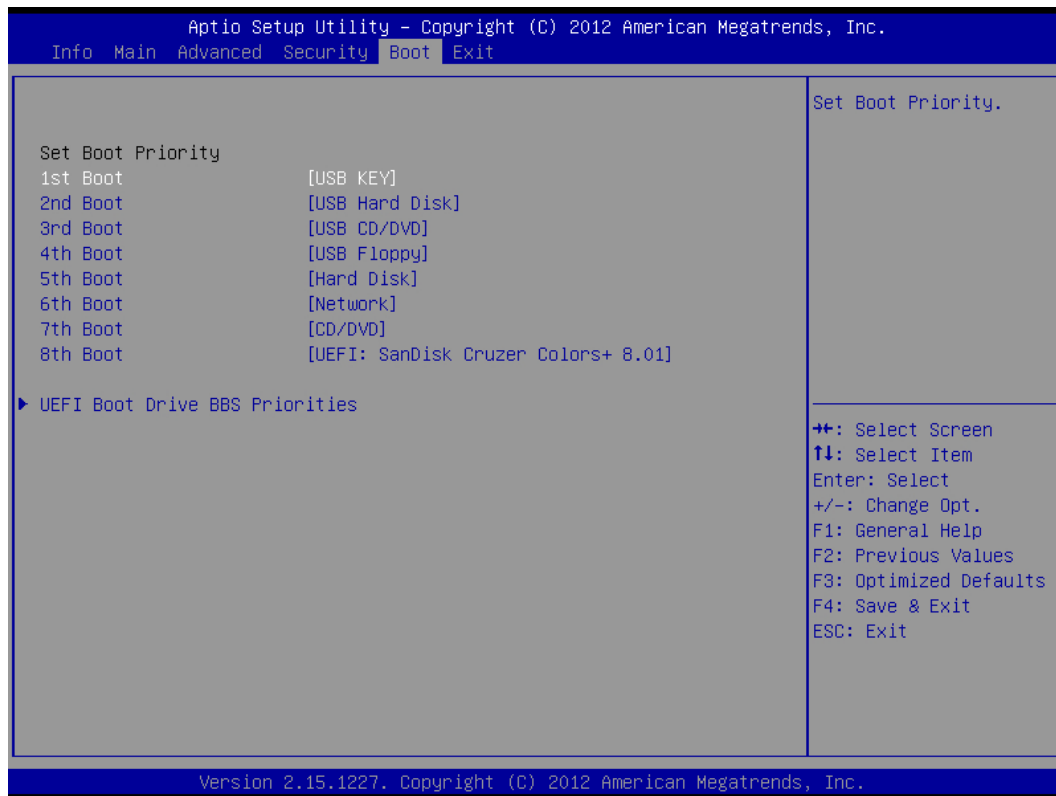
- LAN Remote Boot (LAN遠隔起動)

- Set Boot Priority (1st/2nd Boot)

使用できる機器における起動順を特定します。

括弧内の機器は、対応形式メニューにて無効化されている機器です。

- Windows 8 用:



- Set Boot Priority (1st/2nd/3rd.... Boot)

使用できる機器における起動順を特定します。  
括弧内の機器は、対応形式メニューにて無効化されている機器です。

- UEFI Boot Drive BBS Priorities

デバイスの起動優先度を選択。

## ■ 4.2.6 Save & Exit Menu (保存してメニューを終了する)



- Save & Exit Options ( 変更を保存して終了 )  
変更を保存し、システムセットアップを終了します。  
この操作にはF4キーを使用することができます。
- Discard Changes and Exit  
( 変更を取り消してセットアップを終了 )  
変更を保存せずに、システムセットアップを終了します。  
この操作にはEscキーを使用することができます。
- Discard Changes ( 変更を取り消し )  
セットアップ項目にこれまでに加えた変更を取り消します。  
この操作にはF2キーを使用することができます。
- Restore Defaults  
すべてのセットアップオプションの修復及び初期設定化。  
この操作にはF3キーを使用することができます。